

文化祭

様式 1

【事業一覧】

No	1	中央公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		10月25日(土) 10月26日(日)	中央公民館文化祭	実10633685 報10801700	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	1	中央公民館		経費	¥204,089	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 公民館利用団体の学習成果の発表の場を提供し、団体相互の交流を図る ② 市民に活動の成果を公開し、生涯学習の振興と市民文化の向上を図る					
対象	(1) 中央公民館利用団体のうち、参加を希望する団体 (2) 中央公民館主催の学習団体（明寿大学の学習クラブ）等					
周知	■ 館報	■ H P	■ チラシ	■ その他 （ 広報まえばし ）		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	10月25日(土)	(1) 展示部門：作品展示、研究活動の発表等 (2) 舞台・フロア部門：ホールでの舞台発表、フロア発表 (3) 催し部門：焼きそば、おでん販売、バザー、会員制作のビデオ上映、スポーツ吹矢体験、手芸作品・陶芸作品の販売、健康マージャン体験等			参加者数	920
	9:30				参加団体数	119団体 (2日間)
	16:30				中央公民館全館	
2	10月26日(日)	(1) 展示部門：作品展示、研究活動の発表等 (2) 舞台・フロア部門：ホールでの舞台発表、フロア発表 (3) 催し部門：焼きそば、おでん販売、バザー、会員制作のビデオ上映、スポーツ吹矢体験、手芸作品・陶芸作品の販売、健康マージャン体験、お茶のおもてなし等			参加者数	880
	9:30				参加団体数	119団体 (2日間)
	16:30				中央公民館全館	

延べ参加者数 1,800人

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	実行委員の交流や参加者同士の交流が生まれ、新たなつながりづくりに寄与した
地域のニーズにこたえているか	○	作品展示や舞台での発表を通じて市民文化の向上を図ることができた
企画・事前準備は十分であったか	○	実行委員と密に連絡を取り合いながら準備することができたと感じる
学習者の満足度はどうであったか	○	発表団体からの大きな不満はなく実施をすることができた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	作品展示や舞台発表を通じて地域に還元できた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	広報まえばしも活用するなど概ねできた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	最後まで多くの人に文化祭を見てもらうにはどうしたらよいか昨年度より実行委員で検討を重ね、今年度、両日で午前・午後の部の終了後（計4回）に「お楽しみ抽選会」を実施した。その結果、多くの来場者が最後まで観覧し、課題を解決することができた。また、展示部門においては団体に希望を取り、文化祭の2日間のみの展示期間だったものを15日間に延長し、より多くの人が観覧できるよう改善した。	
改善点	文化祭当日にご協力いただいた運営係の人数が多く、お弁当の単価を安くしなければならない状況であった。過去の運営係の人数を整理して今年度どのくらいの人員が必要かを事前に実行委員会で示し、適正な運営ができるように準備していきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	文化祭を実施して公民館利用団体が発表する機会を作ることとはとても重要だと感じる。多くの人に見てもらえるよう職員並びに実行委員と協議をして実施をしていきたい。	

その留意事項等	
---------	--

	
ワークショップの様子	ホールでの発表の様子

【事業一覧】

No	2	上川淵公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		11月1日(土) 11月2日(日)	第46回上川淵地区文化祭	実10641215 報10705867	

【事業の概要】

No	2	上川淵公民館		経費	¥308, 800	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 上川淵公民館を利用して学ぶ団体・グループおよび上川淵地区内住民等が一堂に会し、学習や活動の成果を発表することで、互いの交流を図る。 ② 地域住民に広く公開し、学習文化活動や公民館活動への理解を深めるとともに、地域生活と文化向上に資する。					
対象	桂萱地区内で活動している各種団体、学習グループ、サークル等及び地域の住民					
周知	■ 館報	□ H P	■ チラシ	■ その他 （ すぐーる配信 ）		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	11月1日	○開会式（明桜中学校体育館） ○作品展示部門（公民館内） 書道・水彩画・七宝焼・陶芸・俳句・染物・写真 など9団体 ○その他部門（公民館内） 活動体験・模擬店・子どもの広場・ふれあいの広場 ・菊花展示の15団体			参加者数	1, 000
	8:30				参加団体数	24
	16:00				上川淵公民館 明桜中学校体育館	
2	11月2日	○作品展示部門（公民館内） 書道・水彩画・七宝焼・陶芸・俳句・染物・写真 など9団体 ○その他部門（公民館内） 活動体験・模擬店・子どもの広場・菊花展示の 12団体 ○舞台フロア発表部門（明桜中学校体育館） 午前…舞台発表18団体 午後…フロア発表5団体			参加者数	1, 280
	9:00				団体数	44
	15:00				上川淵公民館 明桜中学校体育館	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	のびゆくこどものつどい、ふれあいの広場を同時開催して世代間交流を図った
地域のニーズにこたえているか	○	要望があった飲食の提供数を増やしたことで、盛大な文化祭となった
企画・事前準備は十分であったか	○	雨天時のレイアウトを事前提示し、当日の天候の変化で混乱のないように努めた
学習者の満足度はどうであったか	◎	事後アンケートでは、地域のコミュニケーションの場として有意義に感じるなど好意的な意見が多数明記されていた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	日頃の成果を披露することで、学習グループ等の会員数増加に繋がった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館内のチラシ配布のほか、館報特別号を臨時発行して回覧した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	天候に恵まれ、大盛況で2日間を終えることができた。なお、上川淵公民館は建物改修工事の都合上、本建物で行うのは今年度最後となる。 現在、舞台フロア発表部門は隣の明桜中学校体育館を借りて行っており、綺麗な広い体育館で参加団体は満足した様子である。しかしながら、来館者の年齢層を考慮すると、一つの敷地内で完結した方が移動も少なくなるため、新建物になった際は舞台フロア部門も同一敷地内で開催したいと感じた。	
改善点	模擬店（特に野菜即売）について、開始時間前に参加団体が購入してしまうため、来館者が開始直後であるにも関わらず購入できない事がある。そのようなことがないように、引き続き時間厳守の旨、徹底したい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	自主学習グループ等の活動発表の場として、今後も継続したい。引き続き、地域が求め、参加者来館者皆が楽しめる文化祭を企画したい。 ※令和8年度は、建物改修工事の関係で“中止”の予定。	

その留意他事項	参加団体の高齢化が進んでいるため、準備や片付けには十分留意する。
---------	----------------------------------



作品展示の様子



舞台発表の様子

様式 1

【事業一覧】

No	3	下川淵公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		11月8日(土) 11月9日(日)	第45回下川淵地区文化祭	実10651001 報10784759	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	3	下川淵公民館		経費	¥310,000	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 自主学習グループの活性化を目的に、日頃の学習成果を発表する機会とする ② 自主学習グループの交流を促進する ③ 公民館活動や文化活動への理解を深める機会を提供する					
対象	公民館等を活動拠点とする自主学習グループ、地域活動団体 等					
周知	■ 館報	□ H P	□ チラシ	■ その他 （ すぐる配信 ）		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	11月8日	・作品展示（フラワーデザイン、書道、俳句、活動写真、写真、絵手紙、水彩画、陶芸、他） ・交流のつどい（ソーシャルダンス、太極拳、レクダンス、ベリーダンス） ・催し物（絵手紙体験、お茶会、歌声喫茶、子育てコーナー、人形劇、消防車両展示、防火相談、福祉活動PR、健康コーナー、リサイクルブック配布、更生保護パンフレット及びティッシュ配布、下川淵カルタクイズ・ブックレット販売、パンジー販売、お団子販売、おにぎり販売、マドレーヌ販売）			参加者数	628
	9:00				参加団体数	38
	16:00				下川淵公民館	
2	11月9日	・作品展示（フラワーデザイン、書道、俳句、活動写真、写真、絵手紙、水彩画、陶芸、他） ・舞台発表（合唱、踊り、キッズダンス、手話コーラス、伝統芸能、フラダンス、楽器演奏（ギター、オカリナ、二胡、和太鼓）、カラオケ他） ・催し物（キーホルダー作り、スノードームワークショップ、子育てコーナー、スタンプラリー、手話コーナー、福祉活動PR、健康コーナー、リサイクルブック配布、パンジー販売、お団子販売、コーヒー販売、豚汁配布、焼き芋販売、おにぎり・カレー・焼きそば販売）			参加者数	918
	9:00				団体数	50
	15:00				下川淵公民館	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	昨今薄くなりがちな地域のつながりを大事に、地区一丸となって行事を実施した
地域のニーズにこたえているか	◎	実施時間の延長や飲食の拡充、中学生による吹奏楽演奏等地域の要望を反映した
企画・事前準備は十分であったか	◎	計4回の会議を通じて今年の方針を策定し、混乱なく準備を行うことができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	反省会アンケートでは、大々的に文化祭を実施できてよかったとの声が多数あった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	作品・舞台等の発表の機会があることで、団体の周知につながった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	主に館報特集号により、地区への周知を行った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	今年度は地域づくり事業で栽培したさつまいもを使用しての焼き芋販売を実験的におこなった。係員の尽力もあり、購入するための長い行列もできるほど盛況だった。次年度以降も、文化祭の目玉になりうると思われる。また、今回七中生によるオープニングセレモニーでの吹奏楽演奏が復活したことで、日曜日の観客が大きく増えた。中学校の協力をいただき、今後も行っていければよい。	
改善点	飲食の拡充を図ったが、販売員の確保が足らず、また、当日雨天によって会場レイアウトの変更があるなど一部混乱を生じた。地域行事であるため、地域の方が積極的に参加するよう十分な誠意で協力を仰ぐ必要がある。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	飲食コーナーの拡充や開会セレモニーの復活等、コロナ禍で縮小していた内容を再び実施することができた。来年度も引き続き地区団体の協力を仰ぎながら、地区の三行きのうちのひとつであるという意識を忘れず盛大な文化祭を実施できるよう尽力する一方で、アンケートで自治会長の負担が大きくなっているため、規模や拘束時間の見直しを声もあり、バランスに留意することも検討する必要がある。	

留意事項等 その他	高齢化や会員の減少などで、実行委員には入っていても出展をしない団体がコロナ禍以降増えていた。当日の販売員など、団体の負担を減らした出展方法を提案し、検討してもらうよう働きかけを行う必要がある。
--------------	--

	
舞台発表の様子	下川淵カルタクイズ

【事業一覧】

No	4	芳賀公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		11月8日(土)	文化祭（芳賀ふるさとまつり）	実10519804 報10667813	

【事業の概要】

No	4	芳賀公民館		経費	303,562円		
事業名	文化祭(芳賀ふるさとまつり)			講座区分	文化祭		
ねらい	① 芳賀公民館や地域で活動している団体・グループが日頃の活動や学習の成果を発表する場として開催する ② 地域住民の交流を深めるお祭りとして開催し、地域の活性化や文化の向上を図る						
対象	公民館等を活動拠点とする自主学習グループ、地域活動団体等						
周知	■ 館報		□ HP	■ チラシ	□ その他 ()		
回	月日		内容			参加者数	
	開始時間					参加団体数	
	終了時間					会場	
1	11月8日(土)		発表 【ホール】芳賀中吹奏楽オープニング演奏、ウクレレ、民謡、太極拳、トーンチャイム、レクダンス、カラオケ、社交ダンス、フラダンス、落語、八木節 【屋外】芳賀音頭、こどもだんべえ踊り				
	8:00					参加団体数	17団体
	15:00					ホール・屋外	
2	11月8日(土)		作品展示【講義室、ロビー】 絵画、俳句、洋服、押し花、陶芸、絵手紙、写真、地区内の保育園、老人ホームなどの作品、等				
	9:00					参加団体数	13団体
	15:00					ロビー・講義室	
3	11月8日(土)		その他（芳賀のこどもを明るく育てる集い、農産物即売会、体験コーナー、抽選会、模擬店、絵手紙・工作体験、紙芝居、制服譲渡会、ビンゴゲーム、等）			来場者数	2,660人
						参加団体数	29団体
						ホール・和室 造形創作室・屋外	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	今年も芳賀中PTAによる制服譲渡会やキッチンカーの導入など現代に即したものがあつた
地域のニーズにこたえているか	○	自治会を含む地区の32団体から構成された実施委員会や公民館利用グループと調整している
企画・事前準備は十分であつたか	○	実施委員会および各部会ごとに会議を開催し、準備をすることができた
学習者の満足度はどうであつたか	○	今年は天候に恵まれ、終了後のアンケート結果では全体的に好評だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	公民館で活動している自主学習グループや地域の団体の発表の場となった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	公民館報への数回わたる掲載やチラシの毎戸配布など周知を実施した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	今年は恒例の地域の野菜販売を午前と午後の2回に分けて実施したことにより、午前中に集中しがちな来場者が午後になっても途切れなかった。また、芳賀中学校生徒の約半分にあたる95人もの中学生ボランティアが積極的に活動するなど、学校と地域の連携が図れた。	
改善点	正午を過ぎると、屋外の模擬店で販売している飲食物がほとんど売り切れてしまい、屋外での催しが半減してしまう。また、係員の高齢化が進み、模擬店などの催しが継続できなくなる恐れがある。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	芳賀地区の最大のイベントであり、中学生ボランティアなど、多くの地域住民の交流を深める機会であるので今後も続けていく必要があると思う。しかし、イベントの内容については、それを担う団体の高齢化もあり、今後検討していく必要があると思われる。	

留意事項等	
-------	--

	
舞台発表(ホール)の様子	模擬店(屋外)の様子

様式 1

【事業一覧】

No	5	桂萱公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		10月25日(土) 11月 1日(土) 11月 2日(日)	第4 5 回桂萱地区文化祭	実10596983 報10750038	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	5	桂萱公民館		経費	140,000円	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 桂萱地区内で学習活動を行っている個人や団体、学習グループ等が一堂に会し、日頃の学習成果を発表し合い団体相互間の交流を深める ② 活動内容を広く市民に公開し、芸術文化への関心を高め地域文化の向上を図る ③ 地域住民の連帯意識を醸成し、すみよい地域づくりを推進する					
対象	桂萱地区内で活動している各種団体、学習グループ、サークル等及び地域の住民					
周知	■ 館報	■ HP	■ チラシ	□ その他 （ インスタグラム、すぐえる ）		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	10月25日	・フロア発表 社交ダンス ・起震車による地震体験			参加者数	132
	13:00				参加団体数	4
	15:00				ホール、公民館玄関先	
2	11月1日	・フロア発表 太極拳 ・囲碁・将棋体験コーナー ・ふれ愛コンサート ・作品展示 陶芸、工芸、短歌、古文書解説、絵画（油彩、水彩、アクリルほか）、書道ほか			参加者数	448
	9:00				団体数	12
	15:00				桂萱公民館	
3	11月2日	・舞台発表 歌、フォークダンス、合唱、演奏、読み聞かせ、民謡、遊戯、フラダンス、体操、手話コーラス、八木節 ・作品展示 陶芸、工芸、短歌、古文書解説、絵画（油彩、水彩、アクリルほか）、書道ほか ・体験コーナー 健康マージャン、ブーメラン作り、アクセリー作り、ほか ・販売 焼きまんじゅう、やきそば、たこやき、フランクフト、季節の果物、七宝焼、駄菓子、手作り小物 ・無料配布 チラシ、蒸しケーキ試食、リサイクルブック ・クイズラリー			参加者数	2,175
	9:00				団体数	40
	14:00				桂萱公民館、駐車場	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	こどもから大人まで世代を超えて交流する機会を提供できた
地域のニーズにこたえているか	○	多くの来場者を迎え、盛大に文化祭を開催することができた
企画・事前準備は十分であったか	○	準備において手順を示す作業書などで皆が協力して事故なく作業ができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	団体相互の交流が図られ、皆が協力し合い盛大に開催できたことに満足された様子だった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	日頃の学習活動の成果発表により、活動内容の周知が行えた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	3日間のうち日程が離れているプレイベントのPRに課題が残るが、さまざまな手法で周知に務めた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

43

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	B	天候にも恵まれ、多くの来場者にお越しいただき、にぎやかな文化祭となった。大きな事故やトラブルもなく終えることができたことに安堵している。今年度は30人もの中学生ボランティアの力を借りることができ、特に片付けの際には率先して重いものを運ぶなど高齢の参加者と関わりをもちながら協力していた様子は喜ばしい光景だった。
改善点		文化祭最終日の11月1日、屋外の団体が終了時刻前に片付けを始めた。屋内の団体は時間厳守でやっているの、了時刻は守ってもらえるよう、会議等で終了時間及び片付け開始時間の徹底周知を図りたい。模擬店など屋外の団体の配置で今回は1団体が離れた場所に配置となってしまった。スペースの問題もあるが、工夫して一体的に配置できるようにしたい。

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	維持	地域住民が楽しみにしているイベントの1つであり、桂萱地区内で学習活動に励む個人や団体、学習グループが一堂に会し、日頃の学習成果を発表し合い、団体相互の交流を深める絶好の機会であるため。

留意事項等	
-------	--

	
舞台発表の様子	屋外模擬店等の様子

様式 1

【事業一覧】

No	6	東公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		11月8日(土) 11月9日(日)	第45回 東公民館文化祭	実10606889 報10695692	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No		6	東公民館		経費	¥281,040	
事業名		文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい		① 東公民館を利用する学習グループが日頃の活動成果を発表する ② 東地区の地域団体との交流を深め、地域文化の向上を図る					
対象		主催：東公民館文化祭実行委員会 参加者：地域住民					
周知		■ 館報	■ HP	■ チラシ	□ その他（		
回	月日		内容			参加者数	
	開始時間					参加団体数	
	終了時間					会場	
1	11月8日(土) 11月9日(日)		・オープニングイベント 吹奏楽演奏（東中学校吹奏楽部）、ソーラン節披露（箱田中学校）、ダンス披露（群馬県ベトナム人協会）、和太鼓演奏（育英大学・短期大学あばれん坊太鼓・OG友龍太鼓） ・舞台発表 詩吟、太極拳、体操、フォークダンス（レクダンス）、コーラス、ラウンドダンス、大正琴、ウクレレ、社交ダンス、ハーモニカ、空手、フラダンス、カラオケ			参加者数	2,450
	10:00:00					参加団体数	55
	8日(土)16:00 9日(日)15:00					東公民館ホール	
2	11月8日(土) 11月9日(日)		・作品展示（室内催し） ・作品展示（室内催し） 短歌、ペン習字、水彩画、写真、歴史、生涯学習奨励員展示、陶芸、レザークラフト、鎌倉彫、手話体験会、健康増進コーナー、更生保護女性会資料配布・活動広報			参加者数	-
	10:00:00					団体数	-
	8日(土)16:00 9日(日)15:00					東公民館ホール、館内	
3	11月8日(土) 11月9日(日)		・屋外催し（ふれあい広場） ポップコーンの配布、衣料品・日用品の販売、駄菓子類の販売、焼きまんじゅうの販売、陶芸作品販売、水風船配布、だんご販売、野菜・味噌の販売、パトカー・白バイの展示・啓発チラシ配布、キーホルダー作成・消防車と写真撮影、風船ボール配布、試食配布、キッチンカー配車（両日各3台）			参加者数	-
	10:00:00					団体数	-
	8日(土)16:00 9日(日)15:00					東公民館駐車場	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	地域住民の交流を促進し、地域文化を深める役割を担っている
地域のニーズにこたえているか	◎	共生社会の実現を目指し、地域住民の相互理解と交流の場となっている
企画・事前準備は十分であったか	○	実行委員会、各団体と協力し、文化祭の準備・運営を行うことができた
学習者の満足度はどうであったか	◎	発表を通じて学びの成果を披露し、交流を深めるとともに学習意欲を高めることができた
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	学習成果を地域で共有することで、地域文化を創造し継承する貴重な機会となっている
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報、HP掲載に加えプログラムを館内に設置した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

45

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	合唱や踊り等の舞台発表、絵画や書道等の展示など日頃の学習成果を地域に披露し、参加団体の相互理解を深め、地域文化の向上発展に資することができた。各種団体にも参加いただき、前年と同規模の文化祭となった。また、新たな試みとして、群馬県ベトナム人協会に声かけし、開会式典にて民族衣装を纏ったダンスを披露してもらった。異文化交流を通して、異なる文化を理解し合い、多様性を尊重しながら共に生きる社会の理念を地域に根付かせる一助になったのではないかと考える。	
改善点	参加団体にアンケートを行った結果をみると、満足度は高かったように感じる。高齢化のため、参加団体の数と会員数にも減少傾向がみられるため、文化祭の開催にあたって考慮、検討すべき点がいくつか挙げられた。来年度は、文化祭の実施方法等を早期の段階から検討していきたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	本事業は、地域住民の交流促進、生涯学習の推進、地域文化の継承・創造を目的として実施している。学習グループや地域の団体が日頃の学習・活動成果を発表することで、地域住民が互いに学び合い、理解を深める機会となっている。また、次世代に地域文化を伝える契機としても意義があるため、地域住民の学びと交流を支える基盤として不可欠であることから継続して実施すべきと考える。	

留意事項等 その他	高齢化が進行し、学習グループ数と会員数は減少傾向にあり、文化祭の準備、片付け等の担い手が概ねシニア層であるため、今後は屋外作業等の力仕事が増えることが予想される。若年層・中年層の参加を促す企画や開催内容についても検討していきたい。
--------------	---

	
作品展示の様子	舞台発表の様子

【事業一覧】

No	7	元総社公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		11月8日(土) 11月9日(日)	第40回 元総社地区文化祭	実10618587 報10691217	

【事業の概要】

No		7	元総社公民館		経費	440,862円	
事業名		文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい		① 地域住民の学習・文化活動ならびに伝統芸能等の成果発表を通じて、地域の芸能文化の振興と向上を図り、併せて地域住民の連帯感を深めることを目的とする					
対象		公民館を活動拠点とする自主グループ、地域活動団体 等					
周知		■ 館報	□ HP	■ チラシ	■ その他	開催1か月前より自主グループの「のぼり旗」を屋外フェンスに設置して周知。また各種団体のインスタなどにて配信	
回	月日		内容			参加者数	
	開始時間					参加団体数	
	終了時間					会場	
1	11月8日(土)		＜こども広場＞ 元総社中学校吹奏楽部演奏、総社神社太々神楽保存会実演、元総社小学校合唱、元総社町上宿町獅子舞保存会実演、元総社南小学校合唱、大友町百万遍保存会実演、元総社北小学校合唱、おはなし劇公演、ミュージカル公演、アフターハロウィンフォトスポット・キャンディバッグづくり、蒸しまんじゅう体験教室、まが玉づくり教室、リサイクルブック配布・利用カードケース配布、健康キャンペーン、バルーンアート教室、模擬店（ヨーヨーつり、ポップコーン、清涼飲料水、天かすうどん、チョコバナナ）、キッチンカー（2台）			参加者数	1,402
	9:00					参加団体数	22
	14:00					ホール、ホール前ロビー、和室、料理実習室、駐車場	
2	11月8日(土) 11月9日(日)		＜作品展示＞ 絵画、パソコン学習、宇宙の学習活動の紹介、陶芸、俳句、編み物、書道、絵手紙、歴史の活動発表など。 （自主グループ団体(9)、元総社中学校、元総社小学校、元総社南小学校、元総社北小学校、元総社保育所、元総社幼稚園、地域づくり協議会、生涯学習奨励員連絡協議会、介護施設（2）、一般参加者（1））			参加者数	652
	9:00 9:00					団体数	団体 19 一般 1
	14:00 13:40					各会議室、廊下壁面、玄関ロビー、ホール前ロビー	
3	11月9日(日)		＜舞台発表＞ 社交ダンス、新舞踊、合唱、太極拳、オカリナ合奏、フォークダンス、民謡踊り、だんべえ踊り、フラダンス、民族芸能（太鼓舞踊）、吹奏楽、キーボード合奏、ハーモニカ合奏、ウクレレ合奏			参加者数	636
	9:00					団体数	17
	13:40					ホール	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	近所付き合い等が希薄となっている中、催しを通して世代を超えた交流が図れた
地域のニーズにこたえているか	◎	児童生徒音楽会に参加した3小学校の合唱を聞きに、多くの家族が訪れた
企画・事前準備は十分であったか	◎	年度初めから毎月、学校関係者や自主グループ等との意見交換や会議を行い、最善を図った
学習者の満足度はどうであったか	○	日頃の成果を文化祭で発表することを励みとする貴重な場になっている
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	活動の成果を地域に発表する貴重な場であり、また加入者獲得と人材育成の場となっている
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	開催1か月からののぼり旗やポスターの設置並びにプログラムの毎戸配布。各媒体を利用

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 47

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	今年度は、文化祭を担当してから思い浮かべていた元総社中学校吹奏楽部の演奏と3小学校の合唱、自主グループのミュージカル劇団等の参加協力が得られたため、1日目のこども達を対象とした体験教室や模擬店等のこども広場は体験賑わいを見せいたと思う。また、2日目も作品展示と舞台発表と、団体同士のコラボ発表もありながら日頃の成果を発表し、会場を盛り上げたこともあり、延べ2,690名の来場があった。来場者を増やす試みが功を奏したと思う。なお、地域の芸術文化の振興と向上を図り、地域住民の連帯感を深める一つの行事になった。	
改善点	建物構造により仕方がないが、順路の設定を検討し、各部屋の作品展示を観賞してもらうよう工夫するとともに、体験学習及び模擬店以外、来場者の滞在時間が短いため、魅力ある催しを検討し、長い時間観覧してもらえるようにする。なお、公民館職員が大きな負担を負う文化祭は衰退していくと思われるため、実施に当たっては、各実行委員会メンバーに明確な役割を示し行ってもらえるようにする。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	公民館として、「主体的な学び」の実現につながる学習機会の提供を行っている以上、その活動発表の場を提供することも責務と考える。	

留意事項等	実行委員会メンバーも高齢のため、人数がいても準備や片づけの主体となれない現状があるため、一定年齢以下のボランティアを募集や各種行事の統合などを検討する時期となっている。
-------	--

	
ミュージカルの様子 (1日目：こどもを中心とした文化祭)	舞台発表でのコラボの様子 (2日目：おとなを中心とした文化祭)

様式 1

【事業一覧】

No	8	総社公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		10月25日(土) 10月26日(日)	総社地区文化祭	実10522956 報10654451	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	8	総社公民館		経費	¥100, 000		
事業名	文化祭			講座区分	文化祭		
ねらい	① 総社公民館、桜が丘集会所及び地区内で学習する団体・グループ・地区住民の文化祭運営、発表を通して相互の交流を図る ② 日頃の様々な学習活動の成果を来館者が観覧及び体験し、幅広く地区の芸術・文化に親しむ機会とする ③ 文化祭を円滑にすすめるため、総社地区自治会連合会・各種地域団体・学校の協力により企画実施する						
対象	総社地区住民、総社公民館・桜が丘集会所で学習するグループ、 総社地区住民で組織する団体、個人 等						
周知	■ 館報		□ H P	■ チラシ	■ その他 （ すぐーる ）		
回	月 日		内 容			参加者数	
	開始時間					参加団体数	
	終了時間					会場	
1	10月25日(土) ～ 26日(日)		作品展示 書道、陶芸、フェルト手芸、トルペ インテイング、絵手紙、写真、水彩画他、吊し飾り、純銀アート、切り絵、ちりめん細工 作品数 2 0 5 点 （団体） 1 1 （個人） 5			参加者数	476
	(25日)13:00 (26日) 9:00					参加団体数	11
	(25日)16:00 (26日)14:00						
2	10月26日(日)		舞台発表 吹奏楽、朗読劇、太極拳、合唱、舞踊（日舞、歌謡吟詠、民舞等）、脳トレ、ダンス（フラダンス、フォークダンス）ハーモニカ、ミュージックベル、ピアノ弾き語り、南京玉すだれ (団体) 1 7 （個人） 4			参加者数	450
	9:30					団体数	17
	13:40						
3	10月26日(日)		模擬店 健康コーナー、民生委員児童委員活動PR、模擬店（がんもどき試食、やきそば、フランクフルト、綿菓子、チョコバナナ、ポップコーン、甘太郎焼、飲み物、ブラジル料理各種、HONMAYA出張販売） (団体) 8			参加者数	1, 915
	9:30					団体数	8
	売り切れ次第						
4	10月26日(日)		秋元公歴史まつり体験 秋元史跡巡り（雨天のため、資料館見学）、光巖寺特別公開、甲冑と記念写真 計 8 4			参加者数	84
	9:30					団体数	3
	14:00						

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	秋元歴史祭りのPR活動ができた
地域のニーズにこたえているか	○	学習活動の発表の場となった
企画・事前準備は十分であったか	○	実行委員会で集まる機会は少ないが、事前のヒアリング、要望等うけ反映できたと思う
学習者の満足度はどうであったか	○	模擬店内容の充実、学習活動の発表の場となった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	公民館で活動する団体等が学習成果を発表する貴重な場となっている
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報に掲載し、プログラムを毎戸配布した他、すぐで周知した

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	来場者、参加者の満足度は高い。 しかし、来場者、参加者層が固定化し、子どもから中年層、午後の来場者数が少ない。	
改善点	子どもを中心とした幅広い年代に来場してもらえるように工夫が必要である。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	各種団体の協力を得て開催することで、地域住民同士の貴重な交流の場となり公民館利用者の活動の成果を発表する機会でもあるので、引き続き開催していく。	

その留意点等	
--------	--

	
作品展示	秋元公歴史まつり体験

様式 1

【事業一覧】

No	9	南橋公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		10月25日(土) 10月26日(日)	南橋地区文化祭	実10607593 報10685919	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	9	南橋公民館		経費	¥120,000	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 南橋地区内で各種学習活動に励む住民が一堂に会し、それぞれの学習成果を発表することを通じて、互いに交流を深めるとともに、地域住民に広く公開することで、地域の学習文化活動や公民館活動への理解を促進し、地域の文化振興と活力ある地域づくりに寄与することを目的とする					
対象	南橋地区の各種団体、南橋公民館利用文化団体連絡協議会加入グループ、地区内保育所・小学校・中学校・高校・大学、各町自治会推薦学習グループ、一般個人、および、文化祭に参加する住民等					
周知	■ 館報	■ H P	□ チラシ	■ その他 （各町掲示板へポスター掲示）		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	10月25日(土)	【作品展示】 水彩画、手芸、書道、陶芸、七宝焼、町広報紙、活動記録一般公募作品、小中学生作品等 【模擬店等】 フランクフルト、マジックプレート、焼きそば、ポップコーン陶芸作品、廃油リサイクル石鹸、リサイクル衣料、健康相談、青果販売、脳トレ減塩普及活動、キッチンカー等 【舞台発表】 コーラス、唄、踊り、ハーモニカ、カラオケ、太鼓、ウクレレダンス、フラダンス 手話コーラス、子ども和太鼓、保育所(歌・遊戯)、小学校(合唱)			参加者数	1,210
	9:00				参加団体数	63
	16:00					
2	10月26日(日)	【作品展示】 水彩画、手芸、書道、陶芸、七宝焼、町広報紙、活動記録一般公募作品、小中学生作品等 【模擬店等】 青果販売、キッチンカー等 【演奏会】 中学校吹奏楽、市立前橋高校吹奏楽、群大マンドリンソサエティ演奏			参加者数	514
	9:00				団体数	26
	12:00					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	◎	保育所・小中学校のほか、地区内の高校・大学に参加を呼びかけ世代間交流をはかった
地域のニーズにこたえているか	○	文化祭が地域住民の「晴れの場」として、地域活性化の一助となっている
企画・事前準備は十分であったか	◎	実行委員会のほか、各部門別の会議を重ね、適切に企画・事前準備を行った
学習者の満足度はどうであったか	○	事後のアンケートでは、多くの参加者が文化祭の意義を感じているとわかった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	各学習グループ、発表者が、地区文化祭を目標として、学習活動に精励している
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	市HP、9、10月館報、各町自治会掲示板にポスター掲示、地区内小中高保護者宛“すぐる”アプリ周知

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

47

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	地区文化祭には子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し、地域における学びの成果がしっかりと可視化されたと感じた。昨年の課題であった舞台発表の間延びについては、2日間の発表を1日に集約したことで解消された。その一方で、2日目を中学・高校・大学による演奏発表の場として設けたことで、内容にメリハリが生まれ、駐車場の混雑緩和などの効果も見られた。	
改善点	事前周知については、ポスターを学校にも掲示してもらうことで、児童・生徒の参加をより促すことができたと思われる。事後アンケートでは、2日目の展示時間が短くなった点について「もう少し長くしてほしい」との改善要望が寄せられたため、来年度の検討課題としたい。また、催し部の模擬店については、次年度に向けて雨天時の代替計画を事前に整備しておく必要がある。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	地区文化祭は、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し、地域における学習成果の発表と交流の場として定着している。各学習グループや学校等が本事業を目標として学習活動に取り組むなど、地域の文化振興に資する効果が大きい。発表の構成見直しにより間延びが解消され、駐車場混雑の緩和など運営面での改善も見られたことから、次年度も現行規模での継続が適当と判断した。	

その留意点等	
--------	--

	
市立前橋高校の踊る吹奏楽演奏	展示物の解説を聞く来場者

様式 1

【事業一覧】

No	10	清里公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		10月25日(土)	清里地区文化祭	実10582409 報10698249	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	10	清里公民館		経費	¥149, 206	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 日頃の学習活動や文化活動、伝統芸能の継承活動等の成果を発表する場を提供する ② 芸術文化・地域文化の向上を図る ③ 住民同士の交流、連帯感を深める機会とする					
対象	清里地区住民					
周知	■ 館報	☐ H P	■ チラシ	☐ その他 ()		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	10月25日(土)	作品展示部 七宝焼、陶芸、リメイクした洋服、バッグ、中国結び、古布人形、書道、少年野球活動報告、花の展示、油絵、仏像彫刻、利根黄金石、利根さび石、リフォームとパッチワーク			参加者数	104
	10:00				参加団体数	15
	16:00					
2	10月25日(土)	舞台発表部 保育所、剣道の稽古、大正琴、空手演舞・型、詩吟、歌謡ショー、ハーモニカ演奏、日本舞踊、3 B体操、フラダンス、太極拳、コーラス、ウクレレ演奏、フォークダンス、子ども八木節、だんべえ踊り			参加者数	168
	10:00				団体数	18
	16:00					
3	10月25日(土)	催し物模擬店部 消防車展示、キーホルダー作り、健康マージャン教室、くじ、飲み物、きよさと焼、型抜き、けんちん汁、コーヒー、焼きまんじゅう			参加者数	85
	10:00				団体数	10
	16:00					

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	地域の世代間交流や高齢者が外出する機会となっている
地域のニーズにこたえているか	○	各種発表や憩いの場となっている
企画・事前準備は十分であったか	○	7月から実施委員会及び各部門の会議を開催した
学習者の満足度はどうであったか	○	地区学習グループや個人の発表の場となり来場者に見てもらい満足しているようだった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	日頃の練習の成果を発表し地域に広めた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報と毎戸配布のプログラムにより周知

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	昨年度は衆議院議員選挙の期日前投票の会場となったため中止となったが、今年度は各種学習グループや個人の参加により、公民館利用団体の成果発表の場として2年ぶりの開催ができ良かった。参加者からは以前と比べ子どもの数が少ないという意見があった。 (2年前はのびゆくこどものつどいと合同開催であった)	
改善点	清里地区は1日のみの開催となっているため、他地区と同様に2日間開催として展示期間の延長を検討したい。多様な世代が来場してもらうため、子ども向けのイベント(少年の日フェスティバル)と合同で2日間の開催にできないか参加団体と協議する。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	各種団体及び個人の日頃の練習成果の発表及び交流の場となっているため。	

留意事項等	
-------	--

	
作品展示	舞台発表

【事業一覧】

No	11	永明公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		11月1日(土) 11月2日(日)	永明地区文化祭	実10620975 報10763371	

【事業の概要】

No	11	永明公民館		経費	実行委員会より支出	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 永明公民館はじめ永明地区内各施設を利用して活動するグループが一堂に会し、学習活動の成果を発表するとともに、地域住民に公開し、公民館活動や地域の学習文化活動への理解を深め、生活と文化の向上と活力ある地域づくりを図る					
対象	地域住民					
周知	■ 館報	■ HP	■ チラシ	□ その他（ ）		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	11月1日(土) 11月2日(日)	作品展示 (陶芸、水墨画、水彩画、絵手紙、活動成果発表等)			参加者数	304
	9:00				参加団体数	13
	1日(土)16:00 2日(日)12:00				交流スペースほか	
2	11月1日(土)	お茶席			参加者数	127
	11:00				団体数	1
	15:00				和室	
3	11月1日(土)	ダンス交流会 (レクダンス、社交ダンス、フラダンス等)			参加者数	200
	10:05				団体数	10
	12:30				ホール	
4	11月1日(土)	カラオケフェスティバル (各自治会代表者)			参加者数	199
	15:00				団体数	14
	17:15				ホール	
5	11月2日(日)	舞台発表 (合唱、ウクレレ演奏、ミュージカル等)			参加者数	263
	9:30				団体数	14
	11:50				ホール	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	地域での連帯感が希薄する中で、地域の交流や連帯の場を創出した
地域のニーズにこたえているか	○	永明小学校との連携により地域交流の場として機能した
企画・事前準備は十分であったか	○	自治会役員等と準備会で検討を重ねて、もれなく準備をおこなった
学習者の満足度はどうであったか	○	おおむね好評の声があった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	学習グループの学習成果を発表する場として実施し、成果をえた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	チラシの全戸配布を行い、浸透を図った

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	公民館新築後およびコロナ禍以降、4回目の開催になる。今回はより発表／出演団体数も増え、多彩になりつつある。一方で、残念ながら駐車場の不足はいかんともしがたく、今回も苦情の声等をいただいた。模擬店や屋外ステージなど、まつりとしてのにぎわいをみせたく、そのような声もいただいているが、実行委員会としても駐車場の問題が解決されない限り、実施はむずかしいことが共通理解となっている。	
改善点	駐車場の整備	

次年度の事業継続の評価	拡充	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	今回で43回目となる伝統行事だけに、住民からも親しまれている。施設や構成員の高齢化等の課題とも向き合いながら、一層の拡充が求められよう。	

留意事項等	高齢化に伴い、準備や運営の場面で配慮が必要になっている。
-------	------------------------------

	
作品展示の様子	舞台発表の様子

【事業一覧】

No	12	城南公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		11月1日(土) 11月2日(日)	城南地区文化祭	実10591056 報10719493	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	12	城南公民館		経費	¥326,860	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 城南地区及び城南公民館で学習しているグループ・団体等が地域文化の向上を図ることを目的に、日頃の学習活動の成果を発表する機会とする。					
対象	城南地区住民					
周知	■ 館報	■ H P	□ チラシ	■ その他 （文化祭情報コーナーの設置）		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	11月1日(土)～11月2日(日)	○芸能発表部門 ・こどものつどい（しおり・カードづくり、マージャンパイで遊ぼう） ・交流会（社交ダンス、歌声サロン、英語劇、フラダンス、八木節、吹奏楽ほか） ・舞台発表（合唱、だんべえ踊り、フラダンス、楽器演奏、ロックダンス、八木節ほか）			参加者数	300
	(土)10:00 (日)9:30				参加団体数	27団体
	(土)15:00 (日)15:00				こどものつどい：1階ロビー 交流会、舞台発表：ホール	
2	11月1日(土)～11月2日(日)	○作品展示部門 ・展示（生け花、俳句、陶芸、竹細工、絵画、写真、絵手紙、着物着付けほか） ・相談コーナー（健康相談、食生活相談、介護予防相談 マネープラン相談） ・茶席			参加者数	459点
	(土)9:00 (日)9:00				団体数	29団体
	(土)16:00 (日)15:00				ロビー、音楽室、和室、視聴覚室、第2会議室、造形創作室	
3	11月1日(土)～11月2日(日)	○模擬店部門 ・ポップコーン/綿菓子配布、消防車輛展示、太巻き寿司、だんご、まんじゅう、三陸産わかめ、肉巻きおにぎり、チーズケーキ、竹細工販売、農機具展示、障害者施設PRほか			参加者数	130
	(土)10:00 (日)9:30				団体数	11団体
	(土)16:00 (日)14:00				南駐車場	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	マンネリ化していた催しの内容を変更し、多くの方が参加者がみられたため
地域のニーズにこたえているか	○	昨年の反省や、地域からの要望を踏まえて実施することができたため
企画・事前準備は十分であったか	◎	各部門で数回の会議を行なったうえで臨み、当日大きなトラブルなく実施できたため
学習者の満足度はどうであったか	◎	今年初めて参加する団体や催しが多く、新鮮に楽しんでもらえたため
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	公民館で活動する方や、地域の方の学習成果を発表することができたため
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	◎	公民館報での周知や、すぐる配信、情報コーナー設置などを行えたため

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 47

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	B	自治会長の参加が難しいということから、当初は10月に文化祭を開催する予定だったが、多くの学習グループから意見があり、11月へ開催日を変更した。同じような内容が長年続いていたため、学習グループの協力を得て、子ども向けコーナーの充実を図ることができた。工作は人気で子どもが集まっていたので、来年以降も実施したい。また、舞台発表への参加者は、これまで自主学习グループ連絡協議会加入団体を中心であったが、地域で活動する団体も参加できるように募集要項を整えたところ、初参加の団体からも申し込みがあり、交流が広がったとの声があった。
改善点		テント設営やパネル運びなど、準備は学習グループ中心に担ってもらっているが、高齢化が進んでいることから、自治会長の負担が大きくなっている。地域の団体にも声をかけたり、グループへ依頼する人数を増やすなどの工夫が必要。舞台発表当日の準備は早く来た団体が終わらせてしまい、集合時間に来た団体はやることがなかったため、準備の作業量や時間について、再考する必要がある。

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	維持	年に1度の大きなイベントであり、公民館で活動している方たちは文化祭での発表をモチベーションにしているため、継続して発表の場を作る必要があると考える。

留意事項等	
-------	--

	
ロビーに設置した情報コーナー	こどものつどい（しおり・カードづくり）

【事業一覧】

No	13	大胡公民館	事業名	文化祭	
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号
1	文化祭		10月17日(金) ～ 11月 9日(日)	大胡地区文化祭	実10517035 報10669042

【事業の概要】

No	13	大胡公民館		経費	—	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 関係団体・グループが一同に会し、日頃の活動の成果を発表することで、互いの交流を図る ② 大胡地区の芸術・文化の向上に寄与する ③ 作品展示・芸能祭・音楽祭・茶道会・史跡めぐり・囲碁大会・将棋大会等を開催し、幅広く地域市民の参加を促す					
対象	大胡公民館継続利用団体・前橋市文化協会大胡支部加入団体・大胡地区内幼稚園・保育園・こども園・小中学校等					
周知	■ 館報	□ H P	■ チラシ	■ その他（市役所全庁掲示板）		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	10月17日(金) ～10月19日(日)	作品展示 書道、絵画、切り絵、水墨画、陶芸、赤城少年院紹介、団体活動紹介、大胡地区保育園児・こども園児・幼稚園児作品等、小中学校児童作品等			参加者数	443
	9:30～17:00 (最終日15:00)				団体数	22
	大胡公民館					
2	10月26日(日)	芸能祭 琴、フラダンス、舞踊、日本舞踊、民謡、民舞、詩吟、歌謡吟詠、レクダンス、太極拳、和太鼓、八木節など			参加者数	350
	10:00				団体数	13
	13:00				大胡シャンテ	
3	10月26日(日)	茶道会 芸能祭と同日別室にて呈茶			参加者数	90
	10:00				団体数	
	13:00				大胡シャンテ	
4	11月1日(土)	音楽祭 合唱（混声・女声・児童）、オカリナ、吹奏楽、地区内小中学校合唱、大胡中学校吹奏楽部			参加者数	751
	13:00				団体数	11
	14:30				大胡シャンテ	
5	11月3日(日)	史跡めぐり 大胡地区内の史跡めぐりを行う。 大胡城、養林寺、大胡城址など			参加者数	15
	9:15				団体数	
	12:00				大胡地区内	
6	11月3日(日)	将棋大会 A Bの2クラスに分かれて行う。 1位から3位までに賞状を授与する。			参加者数	15
	10:00				団体数	
	17:00				中町公民館	
7	11月9日(日)	囲碁大会 A Bの2クラスに分かれて行う。 1位から3位までに賞状を授与する。			参加者数	15
	10:00				団体数	
	17:00				旧下町公民館	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	異なる年代の地域の交流機会を提供出来た
地域のニーズにこたえているか	○	地域の団体が主体となり実施することが出来た
企画・事前準備は十分であったか	○	早めの事前準備により、大きな混乱は避けられ、各団体が協力的であった
学習者の満足度はどうであったか	○	概ね好評であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	日頃の成果の発表の場を提供することにより、地域の活性化にもなった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	早めの館報、チラシにより、周知できました

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎＝50点、○＝40点、△＝30点、■＝20点で計算し平均点を求める	平均点	40
---	-----	----

事業の総合評価	B	※平均点50点以上＝A、40点以上50点未満＝B、30点以上40点未満＝C、30点未満＝D
感想・意見	芸能祭、音楽祭と会場を舞台、機材も充実している地域にある大胡シャンテで実施していることは、参加者にとっては、日頃の成果の発表の場としては、このうえない励みになります。このような機会を設けることにより、地域のコミュニティにつながり、活性化につながっております。	
改善点	作品展示物の搬出日が、学校の振休にあたり1日延期し作品の保管、運搬が生じました。今後は作品の運搬（移動）作業が生じないように、部屋予約と学校スケジュールを考慮して対応いたします。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	大胡地区の歴史ある文化祭であり、地域住民の交流が出来る良い機会であります。	

その留意他事項	来年度、大胡シャンテは照明改修のため使用不可のため、会場を大胡公民館に変更して開催予定。
---------	--

	
芸能祭の様子	音楽祭の様子

様式 1

【事業一覧】

No	14	宮城公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		11月1日(土) 11月2日(日)	宮城地区文化祭	実10577261 報10695329	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	14	宮城公民館		経費	¥140, 109	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 地区内および宮城公民館で学習するグループ・個人が日頃の学習活動の成果を発表するとともに、広く地域住民に公開し、文化の向上に寄与する ② 作品展示、舞台発表、模擬店、総務の専門部ごとに実行委員が中心となり開催する ③ グループ・個人の活動の活性化を目指す ④ グループ・団体及び地域住民の交流の場とする					
対象	公民館等を活動拠点とする自主学習グループ、地域活動団体 等					
周知	■ 館報	☐ H P	■ チラシ	☐ その他 ()		
回	月日		内容		参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	11月1日(土) 11月2日(日)		作品展示 陶芸、手工芸、トールペイント、団体活動紹介、短歌、絵画、施設・学校・こども園作品ほか ワークショップ 小物作り、デジタルよろず相談		参加者数	454点
	1日13:00～16:00				参加団体数	16団体 個人6人
	2日9:30～15:00				宮城体育館	
2	11月1日(土)		郷土史講演会 戦国地侍の就活事情～『北爪右馬助軍功書出』を読む～ 講師：築瀬 大輔		参加者数	42
	13:30				団体数	1団体
	15:30				宮城公民館多目的ホール	
3	11月2日(日)		芸能発表 和太鼓、キッズダンス、歌謡曲、フラダンス、語り劇、楽器演奏ほか		参加者数	177
	9:30				団体数	24団体
	15:00				宮城体育館	

延べ参加者数 1,734人

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	地域住民同士の交流が生まれ、地域内の新たなつながりづくりに寄与した
地域のニーズにこたえているか	○	地域文化の向上発展、三世代交流に役立てることが出来た
企画・事前準備は十分であったか	△	会場が宮城体育館になったことで、物品の運び出しや係員への指示が一部不十分であった
学習者の満足度はどうであったか	○	他行事との合同開催により三世代が楽しめる内容となった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	◎	芸能発表や作品展示を通じて、グループへの新規加入もあった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	今年度から会場が変更となったが事前広報により当日は混乱もなく多くの来場者で賑わった

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価 ◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める	平均点	40
---	-----	----

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	今年度から「みやぎ三世代まつり」として文化祭、いいもん祭り、のびゆくこどものつどい、ふれあいの広場の4つのイベントを合同で開催した。また、地区内の宮城体育館をメイン会場として体育館アリーナや駐車場を広く使用した。各コーナーが充実したことで、来場者数も昨年度に比べて大幅に増えた。 ただ、昨年から内容が大きく変化したことで、会場準備等の課題が残った。来年度は更に地区の納涼祭と合流することが決まっているため、今年度の課題を整理し来年度に繋げたい。	
改善点	三世代まつりとしては今年度が初開催であったため、事務局（職員）が指揮を取る場面が多くなってしまったが、今後は地域主体のイベントとして各部門の部会長主導に運営できるよう働きかけたい。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	地区内の団体やグループにとって日頃の成果を発表する場は、各団体のモチベーションの向上、更には地域文化の向上発展に繋がるものであるため。	

留意事項等	
-------	--

	
芸能発表の様子	作品展示の様子

【事業一覧】

No	15	粕川公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		11月2日(日)	第5回 粕川元気まつり (粕川地区文化祭)	実10630395 報10712014	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	15	粕川公民館		経費	¥145,000	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 粕川元気まつりを通じて、粕川地区の住民相互のふれあいを深めるとともに粕川地区の伝統・文化・産業の振興を図り、活力ある地域づくりの促進に寄与することを目的とする					
対象	粕川地区住民、ほか					
周知	■ 館報	■ H P	■ チラシ	□ その他（ ）		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	11月2日(日)	舞台発表 中学校吹奏楽部、バンド、ウクレレ、弾き語り（屋内） ハンドベル、歌謡吟詠、大々神楽（屋外）、八木節、民踊、太極拳、キッズダンス、レクダンス、フラダンス 紙芝居			参加者数	470
	9:00				参加団体数	16
	15:00				粕川小学校体育館、校庭	
2	11月2日(日)	作品展示（合計789点） 幼稚園作品、小学生（絵画）、中学生（実験作品）、書道（小中学生、一般）、写真、俳句、紙芝居、絵画、生け花、絵手紙、つるし雛、手芸、革工芸リボン工芸、工芸、陶芸、			参加者数	650
	9:00				団体数	25
	15:00				粕川小学校体育館	
3	11月2日(日)	呈茶			参加者数	180
	9:00				団体数	1
	14:00				粕川小学校体育館	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	地域住民に交流の場、ふれあいの場として深められた
地域のニーズにこたえているか	○	地域の団体が主体となって進められた
企画・事前準備は十分であったか	○	実行委員会等事前準備会議は十分であった
学習者の満足度はどうであったか	○	アンケートは概ね満足の結果であった
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	団体の育成や成果を発表できた
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	早めに館報やチラシを配布できた

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点

40

事業の総合評価	B	※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	粕川地区の産業祭、粕川まつり、夏まつりが統合され「粕川元気まつり」として通常開催となり、今年は、天候にも恵まれ、来場者が多く盛大に開催された。	
改善点	展示作品の展示の出品申し込みも多く、体育館にパネルを設置するにあたり、昨年より一列多く設置したが、小学校の展示スペースをもっと広くとればよかった。	

次年度の事業継続の評価	維持	※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	多くの参加者の申し込みがあったので、広い場所での展示や舞台発表を望む。	

留意事項等	
-------	--

	
粕川中学校吹奏楽部演奏	広い体育館で演奏と展示風景

様式 1

【事業一覧】

No	16	富士見公民館	事業名	文化祭		
	講座区分	学習方法	実施日	講座名	管理番号	
1	文化祭		11月10日(月) ～ 11月23日(日)	第51回 富士見地区文化祭	実10613973 報10690495	

様式 2 - 1

【事業の概要】

No	16	富士見公民館		経費	586,811円	
事業名	文化祭			講座区分	文化祭	
ねらい	① 公民館を活動拠点とする団体が、日頃の成果の発表と相互の交流を行う機会とする ② 広く地域社会に公開することにより、地域の文化活動や公民館活動の理解を深め、地域の文化振興と活力ある地域づくりに寄与する					
対象	富士見公民館を活動拠点とする自主学習グループ、富士見地区活動団体及び住民等					
周知	■ 館報	□ HP	■ チラシ	□ その他 ()		
回	月日	内容			参加者数	
	開始時間				参加団体数	
	終了時間				会場	
1	11月10日(月)～11月23日(日)	作品展示 写真展、彩墨画展、書道展、絵画展、郷土資料展、手芸(陶芸)展、俳句展、児童生徒作品展(原小学校富士見中学校美術部)作品出品数533点			参加者数	879
	9:30				参加団体数	11団体
	16:00				多目的室、ロビー、ホール	
2	11月23日(日)	芸能発表会 詩吟、フラダンス、舞踊、民謡、ハーモニカ、カラオケ、尺八、太極拳、八木節、童謡唱歌、独唱、和太鼓、他抽選会			参加者数	430
	10:00				団体数	27組
	15:30				ホール	
3	11月23日(日)	呈茶席、吹矢体験、短歌会 囲碁大会(14日)			参加者数	235
	10:00				団体数	4団体
	15:30				会議室、研修室、造形創作室	

【事業の評価】

評価項目	評価	評価の根拠等
社会的課題や、地域の課題にこたえているか	○	地域交流の場となっている
地域のニーズにこたえているか	○	地域で活動している団体が中心となり実施
企画・事前準備は十分であったか	○	実行委員会を中心に内容を検討し開催
学習者の満足度はどうであったか	○	満足度を得ることができ好評
学習グループ化や人材育成など、学習成果を地域に還元・波及できたか	○	日頃の練習の成果を発表できる場となった
事前広報を含め、よりよい周知活動が行えたか	○	館報、参加者募集・開催案内チラシを毎戸配布

※成果が十分「◎」、概ね十分「○」、不十分「△」、成果なし「■」で評価

◎=50点、○=40点、△=30点、■=20点で計算し平均点を求める

平均点 40

事業の総合評価		※平均点50点以上=A、40点以上50点未満=B、30点以上40点未満=C、30点未満=D
感想・意見	文化祭を通じて地域住民の発表の場、交流の場となり、喜びや満足度を高める時間を提供できたように思う。	
改善点	文化祭参加者の高齢化が課題。運営や準備等の負担も問題になりつつある。若者世代も参加しやすい文化祭になるよう動きが必要。 コロナ前のように作品展示と芸能発表を同日に開催したほうがよいとの意見がある。	

次年度の事業継続の評価		※事業の必要性・重要性を鑑み、「拡充」「維持」「見直し改善」「廃止」で評価
主な理由等	地域で活動している団体や個人の発表の場、地域住民の交流の場として今後もより良い文化祭になるよう文化協会、文化祭実行委員会が連携し実施	

留意事項等	
-------	--

	
芸能発表の様子	作品展示